



ID: 1305

科目名	建築設計Ⅱ【26年度生用】			コード			
英語表記	Elements of Design and Principles of Design II						
担当教員名	古屋 正次			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	演習	授業形式	面前	履修形態	必修		
授業概要							
建築設計Ⅰに継続して、建築設計の基礎を学ぶ。我が国の伝統的な建築方法である木造について学び、各自で設計案をまとめ、図面を作成し作品として仕上げる。また後半では、二級建築士資格に必要な製図力の基礎を養う。							
到達目標							
(1)基本的な設計の進め方を習得する。(2)与条件に対して、具体的な設計案をまとめる。(3)木造建築の理解。(4)木造建築の設計に必要な様々な図面を修得する。							
授業計画							
第1回	(課題1)喫茶店の設計 課題説明 エスキース方法の解説						
第2回	配置計画の検討、平面計画と断面の検討。						
第3回	立面(外観デザイン)の検討。基本計画のまとめ。						
第4回	平面図 敷地境界・配置寸法・周辺道路・方位等を理解し図面表現する。						
第5回	平面図 躯体・開口部・階段・家具等を、線を使い分けて表現する。						
第6回	立面図 躯体の断面・高さ寸法の表現。平面図との整合性を確認する。						
第7回	断面図 前後関係の表現に留意し、立体感のある図面を作成する。						
第8回	作品のプレゼンテーションを実践・体験し、その方法を学ぶ。						
第9回	(課題2)木造住宅の図面コピー 配置図・平面図 実際の設計図書を模写する。この課題では木造の構造体を適切に表現していく方法を学ぶ。						
第10回	同上						
第11回	立面図・断面図 図面の縮尺にあった適切な表現を学ぶ。						
第12回	各階伏図・軸組図 木造建築の構築方法を示す伏図・軸組図について、その見方・描き方を解説する。その後実例を模写し、作図の方法を理解する。						
第13回	同上						
第14回	矩計図 前課題で学んだ木造建築の構造の理解を深めながら、矩計図(開口部を含んだ部分的な断面詳細図)を作図する。						
第15回	同上						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
課題の提出物により表現力・完成度・理解度を総合的に評価する。そのほか、学習意欲・出席状況も考慮する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
授業外学習			テキスト、教材				
主として製図室での作業とするが、自宅での予習・復習をしておかないと時間内に十分理解は出来ない。			テキストはなし。課題内容の資料を講義演習時に配布する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集成」丸善			実務では木造建築に携わることが多くなる。木造で設計をするためには、構造を理解することが必要である。しっかりと理解し、使える知識にしてほしい。履修条件として、「建築学概論」「建築構法」「建築設計Ⅰ」を履修しておくことが前提となる。				
キーワード							